

どんなカマキリがいるの？

カマキリは昆虫の中でも人気の昆虫です。鎌かまを持っているような前足、獲物えを狙ねらってじっと待すっている姿すがたが、お祈いのりをしているようでもあり、ユーモラスで人気者です。

どんな種類がいる？

座光寺すに棲すんでいるカマキリはオオカマキリ、チョウセンカマキリ、ウスバカマキリ、コカマキリ、ヒメカマキリの5種類です。

そんなにいるの？

といわれそうですが、この中のウスバカマキリは正確には座光寺で記録がありません。しかし県内の分布から、「いるはず」と推定すいていしたもの。またヒメカマキリは1個体の記録があるだけで、迷まよい込こんだ可能性かのうせいがあります。



オオカマキリ



コカマキリ交尾



チョウセンカマキリ
胸のオレンジ斑が特徴

オオカマキリとコカマキリがごく普通にみられる種類です。両種とも緑色型と褐色かつしよく型があり、コカマキリは濃褐色のう型もあります。チョウセンカマキリは下段の白山下などの段丘崖に分布します。

ヒメカマキリの不思議

ヒメカマキリは小さなカマキリで天龍てんりゅうきょういなん峡以南に分布していることが知られていました。森の周囲かんぼくの灌木の上に棲すんでいます。このヒメカマキリが2006年10月21日、宮崎の野菜畑で発



ヒメカマキリ
宮崎の標高560mの畑で発見された個体

見されました。この記録が自然の分布なのか、何らかの原因で移動してきたのかわかっていません。すぐ近くの

製材所にはしばしば山から間伐材かんぱつが運び込まれていました。材木について運ばれてきた可能性があります。

生活史は？

カマキリは昆虫界の肉食者。他の昆虫、それも動いている昆虫だけを食べます。狩かりは待ち伏せ型で、自分はじっとして、相手が近づくのを待ちます。この捕食ほしょく性が強いので、腹部ふくぶで卵を育てている雌は、近くで動く雄も食べてしまいます。雄は交尾をするときに、雌の後から気づかれないように静かに近づきます。

いずれも秋に成虫になって産卵、卵で冬を越こし、晩春に孵化ふかをします。年に1回発生する生活をしています。

卵のうでも区別

冬を越す卵はスポンジ状の“卵のう”と呼ばれるものに入っていて、形は種類ごとに特徴があり、この形で種類を区別できます。



オオカマキリ卵のう



コカマキリ卵のう
石の陰などに産みつける



チョウセンカマキリ卵のう
コカマキリに似ているが、灌木の枝に産み付ける

座光寺の山菜

野にある自然のめぐみをいただく。山菜は豊かな生活の一つの姿です。昔は野の草花を食べることは生活の一部でしたが、近年は生活の余裕から好まれています。座光寺の山にはどんな種類があるのでしょうか。



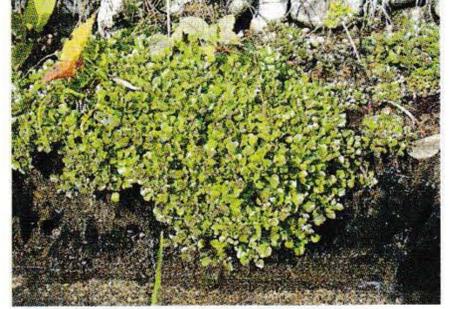
フキのとう
早春、やや湿った野に生える。



セリ
早春、水路や沼地に生える。



ナズナ
早春、畑や空き地に生える。



オランダガラシ (台湾セリ)
春、小川や遊水池に生える。



ツクシ
早春、やや湿った野に生える。



スイバ
春、土手や路傍ろぼうに生える。



ノビル (ネンビル)
春・晩秋に路傍や土手に生える。



ヤブカンソウ
早春、やや湿った空き地や土手に生える。



タラノキ
春、里山や林縁に生える
小高木。



コシアブラ
春、山地の林内に生える
小高木。



クサソテツ
(コゴミ)
春、山地の
沢沿いや
湿った土手
に生える。



ワラビ
春、里山や空き地に生える。
昔から広く食された山菜。



ヒメウコギ (オコギ)
人家周辺に植栽される。
山にはヤマウコギがある。



イタドリ
春、林縁や荒地に生える。



ウド
春、林縁や路傍、荒地
に生える。



ヨモギ
春、路傍や土手に生える。



ゼンマイ



ウワバミソウ (ミズナ)
初夏、谷筋の湿ったところ
に生える。



オオバギボウシ (コウレイ)
春、やや湿ったところに生える。



ミツバ
春、やや湿ったところに生える。



ツリガネニンジン (トトキ)
春、明るい草原に生える。

山のベリーとナッツ

山には食べられる木の果があります。どの種類も座光寺はあまり多くありませんが、食べられる種類を紹介しましょう。ベリーは液果^{えきか}ともいい、みずみずしい果物。ナッツは乾果^{かんか}ともいい、乾いた果物^{かわ}です。



ナワシロイチゴ
林縁や田んぼの土手などに生える。初夏に熟す。



モミジイチゴ
林道わきなどに生える。初夏に熟す。



クワ
農耕地脇や人家付近に生える。初夏に熟す。



ナツハゼ
里山の明るい林内に生える^{かん}灌木^{ほく}。秋に熟す。



ミヤマガマズミ
里山の林縁に生える。秋に熟す。



サルナシ
山地の木にからむつる植物。晩秋に熟す。少ない。



アケビ
山地の木にからむつる植物。秋に熟す。果色はうすい、小葉5枚。



ミツバアケビ
山地の木にからむつる植物。秋に熟す。果色は紫、小葉3枚。



クサボケ
農耕地の土手などに生える小灌木。秋に熟す。ジナシともいう。



クリ
里山の林内に生える。初秋に熟す。



オニグルミ
川沿いや湿地に生える中高木。秋に熟す。



ツノハシバミ
里山の林縁に生える小高木。秋に熟す。



山菜の種類

山菜の種類は雪国に多いものです。座光寺は少なく、昔はワラビ、タラノメなど一部の種類しか食べませんでした。コシアブラ、コゴミなどを食べるようになったのは1970年頃からでした。これは生活に余裕が出てくると共に、TVなどで他の地方の食習慣が伝えられたからでした。

(小林正明)